

おぐろ



2012

9

● 広報

NO.695



～清流に輝く笑顔～

町内の小学生を対象とした「キッズサマーキャンプ」が、8月6日から2泊3日の日程で、天狗平ロッジ等で行われました。子どもたちは、透き通った玉川で川遊びを楽しむなど、自然の中でたくさんの思い出をつくりました。

地域づくり、交流の拠点として

旧校舎の新たな活用と 地域づくりへの可能性



町では、平成18年4月から段階的に学校統合を進めてきており、これまで小玉川小中学校、玉川小中学校（足中分校含む）、伊佐領小学校、白沼小中学校が閉校し、こうした学校区の児童生徒は、現在、それぞれ小国小学校、小国中学校へと通学しています。一方で、残った旧校舎については、地域の団体に管理をお願いするとともに、地域において懇談会を開くなど、旧校舎の利活用に対する地域の思いや声を聞きながら、それぞれ新たな取り組みを進めています。そこで今月は、旧校舎の活用に向けて新しい取り組みを紹介し、地域づくりへの可能性を探ります。

芸術文化の拠点づくり

〜旧小玉川小中学校〜

旧小玉川小中学校は、閉校以来、旧校舎の利活用に対する地域住民の意見の集約を図りながら、「学びの場」としての機能を核にした学習・産業・集会機能の複合施設としての基本方針が取りまとめられました。併せて、町内外の教育機関などに試験的な利用を誘導し、意見等を聞きながらその活用を検討してきました。これを踏まえ、平成22年度からは、東北芸術工科大学と連携し、芸術家を志す若者の創作活動の場としての活用



平成20年度に閉校した旧小玉川小中学校

がスタートしました。

平成23年度からは、同大学の卒業生で結成されたグループ「studioこぐま」が、芸術文化を通じた交流事業等を展開しています。studioこぐまのメンバーは、大沼洋美さん（寒河江市出身）、原田聖さん（北海道根室市出身）、鈴木淳平さん（三重県四日市市出身）の3人です。現在、同校を舞台にして、広く町内外のかたがたを対象として、毎月デッサン教室を開催しているほか、多様な芸術家の展示会などを行っています。また、地域のお祭り（かつきり祭り）と連携した芸術祭や、地元青年部



左から原田聖さん、大沼洋美さん、鈴木淳平さん

と協力し合い雪を活用したイベントを行うなど、芸術に触れる機会を提供しながら、多くのかたがたとの交流拡大に努めています。

活動について原田さんは、「現在は、地元の青年部のかたがたなどに教わりながら、昨年の秋の芸術の収穫祭や、冬このこぐま大学など、地域と共同でイベントができるようになりました。少しずつですが、私たちの認知度も高まってきましたように思います。小玉川は、雄大な自然とマタギ文化が残る地域で、こうした環境のなかで創作活動を行えることはとても貴重なことです。地域



平成23年5月から毎月開催しているデッサン教室

の皆さんの想いの詰まった校舎ですので、多くの人々との交流、芸術活動の拠点になればいいと思います。」と話してくれました。

イベントに参加した藤田梨絵さん（小玉川）は、「子どもを対象とした夏のワークショップに、親子で参加してみました。「はりがねアート」という針金を使った工作を体験しました。娘と一緒にじっくりと芸術に触れることができました。studioこぐまは、町外のいろいろなアーティストを講師に招き学習の機会を提供しているので、本当に貴重な体験ができると思います



夏のワークショップに参加した藤田梨絵さん（右）と粟椋（りん）ちゃん

す。こうした取り組みが町内外に浸透し、たくさんの方が利用するようになれば良いと思います。」と話してくれました。

本年3月に旧小玉川小中学校で雪を活用したイベントを開催した小玉川青年部の舟山和樹さんは、「studioこぐまの皆さんは、多様な芸術教室等を行うとともに、地域の祭りへの協力もいただいています。一方、企画したイベントは若者向けが多いため、地域の年配のかたがたには、なかなか馴染めていないという課題もあります。今後は、地域との接点を増やしながら、studioこぐまの活動と地域の活動の相乗効果を生み出していけるよう連携して取り組んでいきたいと思っています。」と話してくれました。

地域活性化の拠点づくり
〜旧玉川小中学校〜

平成21年度に閉校した旧玉川小中学校の利活用については、平成21年10月に地域の



舟山和樹さん (小玉川)

たがたで構成する検討委員会が設置され、同検討委員会を中心に、平成22年度にかけて学校の利活用について検討を重ねてきました。平成23年度には、地域住民等で構成する「玉川がっこう倶楽部（伊藤忠吾会長）」が組織され、実際の利活用を行ってき



平成21年度に閉校した旧玉川小中学校

す。

同倶楽部では、旧校舎で地域の魅力を発信するとともに、地域資源を活用した人々の交流の場にしようと、様々な取り組みを展開しています。

同倶楽部事務局長の佐藤靖彦さんは、「旧校舎の利活用として、山菜などの産地直売や、子どもたちを対象としたキャンプなどを実施してきました。産直イベントでは、山菜やキノコなど地域の農産物を使ったオリジナルメニューも販売してきました。春と秋の多くの観光客が訪れる時期



佐藤靖彦さん (玉川)

に実施していることもあり、いずれもほとんど完売しました。小国を訪れた人々のニーズにあった取り組みだったのではないかと思えます。また、今後は、旧校舎を活用した婚活イベントも計画しているところですが、将来的には、旧校舎を地域コミュニティの核として活用していくことはもちろんですが、校舎内に産直ブースを展開し、地域の農産物等や、地域オリジナルの飲食物を提供できる場所としても活用していきたいと思っています。ただ、それを事業化し雇用につなげていくためには、まずは試行的にイベントを行いながら、その課題を整理し、交流客の意見やアドバイスを取り入れつつ進めていくことが必要です。そして、旧校舎を地域活性化の拠点に



旧玉川小中学校で開催された山菜祭りの様子

していきたいと考えています。」と話してくれました。

民俗文化継承の拠点づくり ～旧伊佐領小学校～

平成22年度をもって閉校した旧伊佐領小学校は、地域から民俗資料館機能としての活用が提案されたことを受け、町では、施設そのものの空間利用の在り方や民俗資料等の具体的な保存・展示の手法等について検討を進めているところですが、

具体的には、旧伊佐領小学



平成22年度に閉校した旧伊佐領小学校

校の活用と、民俗資料等を活用していく仕組みについて検討する「生活文化・民俗資料等活用仕組みづくり調査研究検討会議」を組織し、7月3日、同校で1回目の会議を開催しました。



調査研究検討会議に出席する井上正美さん（写真左）

活文化、生活技術を継承していく仕組みづくりに向けて意見を交わしました。

会議に出席した綱木箱口公民館長の井上正美さんは、「地域では、民俗資料館の機能を旧校舎に持たせて、活用を図ってはどうかと提案しました。加えて、子どもたちが民話や昔話を聞き、つる細工やむしろ織りなどの伝承技術を体験できる場にしていければと思います。町内のお年寄りには、そうした知恵や技を持ったかたがいますので、活躍の場にもなるでしょうし、次世代を担う子どもたちへの継承の場にもなります。できることから始め、次第に充実していくことが望ましいと考えています。」と話してくれました。

地域の取り組みを支援し 効果的な利活用を検討

旧校舎を活用した取り組みでは、試験的な活動を進めながら、一層の活性化を図ろうと努める町民の姿がありまし

た。

旧小玉川及び旧玉川小中学校での取り組みは、地域ならではの魅力の情報発信につながっていますし、人々の多様な交流活動に結び付いています。また、交流が深まり、様々な取り組みを通して経験が積み重ねていくうちに、新しい視点やアイデアが芽生え、それがさらなる地域活性化につながっていくことも期待されます。旧伊佐領小学校においては、本町に残されている民俗資料等の効果的な公開によって、町内外に本町独自の生活の知恵や技術への再認識、再評価が進むだけでなく、後世に継承するひとつの仕組みとして発展させていくことも可能となるでしょう。

町では、旧校舎における住民主体の取り組みを支援、推進するとともに、今後の利活用の実践にあたっては、社会環境の変化に即応しながら、高齢者福祉対策など様々な角度から地域の活性化に結び付けられるよう検討を深めていきます。

就任のあいさつ



小国町長 盛田 信明

業が持続的に発展していくための環境整備とともに、新時代にふさわしい再生可能エネルギーの活用や学校給食、福祉、医療の分野からの新たな産業創生に取り組み、雇用の創出を図ってまいります。

このたび、多くの町民の皆様のご支持、ご支援を賜り、小国町長に就任させていただきました。身に余る光栄であると同時に、その責任の重大さに身が引き締まる思いであります。

地方自治体を取り巻く環境は、急速に進行する少子高齢化や長引く地域経済の低迷など大変厳しい状況にあります。本町が直面している喫緊の課題にスピード感を持って取り組み、町民の皆様とともに夢や希望を実現できるまちづくりを努力してまいります。最優先課題であります景観雇用対策では、町内の既存産

また、子育て支援と高齢者福祉の充実を柱に、子どもからお年寄りまで各世代におけるきめ細やかな施策を推進し、地域の絆を守り、安全・安心な暮らしづくりを進めてまいります。

私は、町民皆様の大きな期待と民意に応え、「人口一人復活のまちづくり」、「町民主役のまちづくり」の実現と小国町発展のために、全力を傾注してまいります。

最後になりましたが、町民皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈りし、町政に対する一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

平成24年第7回 小国町議会 臨時会

平成24年第7回小国町議会臨時会が、8月28日に開会されました。

専決処分の承認のほか、一般会計補正予算、小国小学校改築工事請負契約の締結など4議案が審議され、原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

一般会計に

491万1千円を追加

山形県による「農林水産業創意工夫プロジェクト支援事業」に、本町の農業法人「小国地産エネルギー研究所」が取り組む「もみ殻利活用プロジェクト」が補助採択されました。このことから、同研究

所が行う移動式製造装置の整備に係る経費の一部を支援することとし、所要額を追加しました。

小国小学校改築工事等の

請負契約の締結

小国小学校の改築工事について、2つの共同企業体による指名競争入札の結果、那須・山和・高橋特定建設工事共同企業体に落札決定し、事業費23億1千万円（消費税含む）で請負契約を締結することとしました。

また、屋内運動場については3業者による指名競争入札の結果、山和建設㈱に落札決定し、3億975万円（消費税含む）で請負契約を締結することとしました。

専決処分の承認

平成23年12月以降の豪雪を受け山形県が創設した「暴風・豪雪被害施設復旧等緊急支援資金」融資制度並びに利子補給制度の対象となる農家に対して、利子補給費の追加等の専決処分が承認されました。

キノコ採りのシーズンが始まります 入山の際は注意しましょう

○クマに出会わない対策を

本年度は、県内でクマの出没が相次いでおり、本年4月から7月末までで266件の目撃情報が寄せられています。

これからキノコ等の採取の季節となり、入山する機会も多くなると思いますが、クマの出没が増加する季節でもありますので、入山や畑仕事等の際には、鈴や携帯ラジカを鳴らすなど、クマに自分の存在を知らせる対応をお願いします。



また、柿等の果実はクマ出

没を誘因する恐れがありますので、柿等の果樹を所有しているかたは、早目に収穫するなどの対応をお願いいたします。

○火の取り扱いに注意

山には、落ち葉や枯れ枝など燃えやすい物が多くあります。たばこの火の始末は携帯灰皿を持参して行うなど、火の取り扱いには十分気をつけてください。

○枯れた立木に近づかないで

山にはナラ枯れ等によって枯れた木があります。枯れた立木は、枝や幹が折れるだけでなく、根元から倒れる場合もあります。危険ですので、枯れた立木には絶対に近づかないでください。

◆問合せ先

産業振興課農林振興室へ

就業構造基本調査 のお知らせ

平成24年10月1日を基準日として就業構造基本調査を実施します。就業構造基本調査は、全国から抽出された約47万世帯の15歳以上のかたがたを対象に、就業の状態に関する調査を行います。

小国町では、小国小坂町地区、岩井沢地区、あけぼの地区、増岡地区、貝少地区、沼沢地区にお住まいのかたがたで『事前依頼はがき』が郵送された世帯を対象に、9月24日から10月1日の間に調査員が対象世帯を訪問し、調査について説明の上、調査票を配布しますので、ご理解とご協力をお願いします。なお、準備調査のため、期間前に調査員が地区内を実査することがあります。

◆問合せ先 総務企画課政策企画室へ

小国町浄化槽水環境保全事業

合併処理浄化槽整備の負担が軽減されます

町では、生活雑排水による

河川等の水質汚濁を防止し、生活環境の保全、公衆衛生の向上を目的として浄化槽水環境保全事業を実施します。

◆対象

平成24年度に公共下水道計画区域外の一般住宅で、単独処理浄化槽や汲み取り便槽を合併処理浄化槽へ切り替えるかた。

◆補助金の額（上限）

▽5人槽 160千円

工事費から352千円を控除した額に3分の1を乗じて得た額又は160千円

▽6人槽以上 200千円

工事費から441千円を控除した額に3分の1を乗じて得た額又は200千円

◆問合せ先

地域整備課建設管理室へ

緑の大切さを考えました

山形県緑の少年団交流研修大会

山形県緑の少年団交流研修大会が、8月2日と3日の両日、総合センターや森林セラピー基地温身平等などで開催されました。

これは、森林をフィールドとした体験学習や共同生活を通じて、緑と親しみ、緑を愛し、緑を未来につなぐ心を育むことなどを目的として実施されているもので、小国町での開催は今回が初めてとなります。



当日は、県内各地域で活動している緑の少年団団員約100人が参加。それぞれの地域で取り組んでいる緑化推進活動の発表が行われたほか、木と木の間にはロープを張って綱渡りをする体験や、温身平等の森林散策などが実施されました。

多くの子どもたちが、本町をフィールドとして、緑の豊かさ、大切さを考える機会となりました。



平成24年9月から

ポリオの 予防接種

が変わります。

て1回、合計4回の接種が必要となります。

標準的な初回接種（1回目から3回目）の接種年齢は、生後3カ月から12カ月で、7歳6カ月に至るまでの間であれば、過去に生ポリオワクチンを受けそびれたかたも不活化ポリオワクチンの定期接種を受けることが可能です。

不活化ポリオワクチン導入前に1回目の生ポリオワクチンを接種したかたは、不活化ポリオワクチンを3回接種することになります。生ポリオワクチンを2回接種されたかたは、不活化ポリオワクチンの接種は不要です。

■接種場所

集団接種から個別接種となるため、町が委託する医療機関となります。

■その他

対象となるお子さんには、個別に説明書及び予診票を送ります。

■問合せ 健康福祉課へ

■対象

生後3カ月から7歳6カ月に至るまでのお子さん

■接種方法

不活化ポリオワクチンは、初回接種として20日から56日までの間隔をおいて3回、また追加接種として初回接種終了後6カ月以上の間隔をおい

ポリオワクチンの接種方法が変わります。これまでは、生ポリオワクチンの経口接種（口から飲む）でしたが、平成24年9月1日からは、不活化ポリオワクチンの皮下接種（皮下に注射）となります。

～小国町の伝統文化、地域づくりなどを体験～

小国町インターンシップ

小国町インターンシップが、8月7日から13日までの7日間、町内各所で行われ、県内外の大学生など12人が参加しました。

これは、小国町の伝統文化や自然に触れるとともに、地域づくり活動を体験的に学び、その取り組みを通じて小国町の魅力を感じてもらおうと、町が昨年度から開催しているものです。

期間中、参加者は、地域のかたがたに指導いただきながら、森林セラピー体験や黒沢峠敷石道の整備作業、つる細工などに取り組みました。活動を振り返り、学生からは、「小国町の人々の温かさ、助け合いの精神を感じた。」「地域の人々が自信と誇りを持って活動していた。一人ひとりのモチベーションが小国町の強さだと思う。」「森林セラピーロードや黒沢峠の散策を通じて、歴史的な魅力も体感し、友人に紹介したくなった。」などの声が聞かれました。



シリゾート協力隊通信 ④ 「盆踊りを通じて感じたこと」

栗本美紀

先日、さいわい荘で行われた盆踊りに小国町民謡研究会の皆さんと一緒に参加させていただきました。今年で3度目になります。

盆踊りがどのぐらい前から行われているのか分かりませんが、入所されているお年寄り皆さんの昔を懐かしみ楽しそうにしている表情を目にすると、改めて昔からある盆踊りっていいものだなと感じます。

あと30年から40年経つと自分もお年寄りといわれる年齢になります。その時にこうして楽しく懐かしむような、情緒あふれるような想いになれる、そんな唄や踊りって自分たちの世代ではあるのかな、と時々考えます。

各地で昔からの盆踊りをはじめ様々な文化が残っているのは良いことだと思います。ただし、若い世代に引き継いでいくためには、昔のまま残していくのではなく、その時代に合ったものにするため、少しずつ変化を加えて残していくことも大事なことだと思います。





夏を彩る 小国の風景

町民花火大会が、8月4日、小国中学校グラウンドを観覧場所にして開催されました。

打ち上げ前のイベントでは、山形おきたま愛の武将隊による演武や、石原裕次郎さんのものまね芸人「ゆうたろう」さんのトークショーなどが行われたほか、小国小学校の5年生児童による花笠音頭も披露されました。花火の打ち上げは午後7時30分から始まり、夜空を焦がす大輪の花に、会場からは大きな歓声と拍手が送られていました。



夏の風物詩 ～盆踊り大会～

お盆を迎えて、町内各地で盆踊り大会が行われました。8月14日に開催された中心商店街盆踊り大会では、様々な仮装をした町民が参加し大会を盛り上げていたほか、多くの帰省客も踊りの輪に加わり踊っていました。ふるさとの夏を楽しんだひと時でした。



新たな誓いを胸に ～小国町成人式～

小国町成人式が、8月14日、総合センターで開催され、新成人79人(対象者108人)が出席しました。式では、盛田信明町長が「皆さんの行動力や発想力、強い意志と勇気が、次代の小国、日本の原動力になります。困難があってもあきらめ



ず挑戦し、自らの目標に向かって頑張っていたらいい。」と式辞を述べ、その後、成人代表あいさつでは、木村健太さん(岩井沢)が「小国で生まれ育ったことを誇りとし、輝きのある町を創造していくため貢献していきたい。」と力強く語りました。

一新成人に聞きました



佐藤 隼さん
(小国中出身)

小国では、たくさんのかたがたにお世話になりました。成長させていただきました。現在は、大学に進学しているため、小国を離れていますが、将来は小国に戻り、地域に恩返しをしたいと思っています。



長谷川 彩さん
(小国中出身)

小国町は、森も川も自然が豊かですし、みんながあいさつし合う温かい町だと思います。今後は、成人として一層の責任感を持って仕事に取り組み、社会に貢献していきたいと考えています。

気迫のこもった稽古を披露 ～大相撲東関部屋小国合宿～



大相撲東関部屋小国合宿が、8月14日から19日までの期間、コバレントマテリアル(株)小国事業所相撲場で開催されました。

今回は、東関部屋と今後合併する予定の中村部屋の力士14人が参加し、気迫のこもったけいこを披露しました。また、合宿中は、町内福祉施設に慰問に訪れるなど、町民との交流も深めました。

花笠音頭を披露してきました

～小国小学校5年生山形花笠まつり初参加～



小国小学校の5年生児童47人が、8月6日、山形市で開催された第50回山形花笠まつりのパレードに出場し、たくさんの踊り手に交じって花笠音頭を披露しました。

出場した児童は、4年生時の学習発表会で、花笠音頭を発表しており、今回は、その取り組みの成果を実践するためパレードに参加しました。大勢の観客が見守るなか堂々と踊ってきました。

集落に息づく伝統行事

～沼沢地区神送り～

沼沢地区の神送りが、8月21日、沼沢地区内で行われました。

この神送りは、貧乏神や疫病神を集落から追い出す行事として、古くから地域で受け継がれてきているものです。

集落を進む太鼓の音が聞こえ始めると、ちょうちんを手にした住民が次々と列に加わり、集落の外れでそれを燃やし、家内安全や無病息災を祈りました。



清流でイワナを追いました

～第23回魚のつかみどり大会～



第23回魚のつかみどり大会が、7月29日、白い森交流センターりふれ周辺で開催され、町内外から約150人が参加しました。

当日は、荒川河川敷の特設池にイワナなど約600匹が放され、参加者は、逃げ回る魚を追いかけたり、岩のそばで待ち伏せしたりして捕まえていました。塩焼きコーナーも設けられ、捕った魚をおいしそうに味わう家族連れの様も見られました。

白い森おぐに湖（横川ダム）に親しみました

～白い森おぐに湖体験～



白い森おぐに湖体験が、7月29日、水源の郷交流館など白い森おぐに湖（横川ダム）周辺施設で行われました。

これは、森林や湖に親しむことにより、心をリフレッシュしながら、森林やダム等への理解を深める「森と湖に親しむ旬間（7月21日～7月31日）」にちなんで実施されたもので、今年で2回目の開催となりました。

水源の郷交流館前で行われた開会式では、主催者あいさつなどのほか、アトラクションとして、Yuiキッズスポーツ少年団のダンスが披露されました。その後、白い森おぐに湖周辺の各会場に別れて横川ダム内部の見学会や、黒沢峠トレッキング、パークゴルフ、カヌー、クライミングなどの体験教室が開催されました。多くの人々が、横川ダムや、白い森おぐに湖周辺地域の魅力を満喫した一日となりました。

笑顔キラリ

Smile.17



金野 伸さん

DATA

- このの しん
- 年齢/27歳
- 住まい/杉沢
- 趣味/登山、ロッククライミング

Konno
Shin

宮城県気仙沼市の出身ですが、山の魅力にひかれて、大学卒業後、小国町に移り住みました。

仕事は林業で、小国町森林組合の造林班に所属し、森林の下刈りや間伐などの業務を行っています。体力を要する仕事なので、大変な面もありますが、大好きな山の空気を吸いながらできるので、とても気に入っています。

休日は、登山やロッククライミングなどのほか、猟友会のかたがたと熊狩りにも行きます。今後も、小国ならではの自然、文化を満喫し、さらに極めていきたいと考えています。

お知らせコーナー

募集

町営住宅入居者募集

《小坂町勤労者住宅》

2K 4戸

(1階・2階・3階)

▽家賃 33,000円

《岩井沢勤労者住宅》

3DK 1戸(4階)

▽家賃 42,000円

▽対象 町内の事業所にお勤めのかた

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 9月11日(火)

■入居時期 9月下旬以降

■問合せ先

地域整備課建設管理室へ

県営住宅入居者募集

■募集住宅 3DK 2戸

▽家賃 所得により決定

▽対象 同居親族がいるかた

(所得制限あり)

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 9月7日(金)

■入居時期 9月下旬

■問合せ先 県営住宅指定管理者(株)西王不動産置賜事務所

(☎0238-242332)へ

平成25年度

「さいわい荘」職員募集

■職種及び人員

①看護師2名(正職員)

②介護員4名(臨時職員)

■受験資格

①は看護師の資格を有するかた、②はホームヘルパー2級以上の資格を有するかた(平成25年3月卒業見込みのかたも可)

■採用予定日

平成25年4月1日

■申込書受付期間

9月5日(水)～9月24日(月)

■試験日

9月30日(日)

■申込方法

さいわい荘で用意している申込書、履歴書に必要事項を記入し、受付期間内にさいわい荘に提出してください。

■申込・問合せ先

さいわい荘 (☎62-3821)へ

置賜広域行政事務組合

職員採用試験

■試験区分と受験資格

▽上級機械(採用人数1名)

昭和58年4月2日から平成

町内の空間放射線量をお知らせします。

～いずれの場所の数値も
人体に対して影響のない水準です～
■8月27日(月)の空間放射線量

測定場所	測定値(μSv/h)
北部小中学校 グラウンド	0.11
沖庭小学校 グラウンド	0.11
旧小玉川小中学校 グラウンド	0.11
旧玉川小中学校 グラウンド	0.09
小国小学校 グラウンド	0.10
小国中学校 グラウンド	0.10
叶水小中学校 グラウンド	0.11
旧伊佐領小学校 グラウンド	0.10
旧白沼小中学校 グラウンド	0.11

※測定値は地上から50cmの高さの値で、単位は1時間あたりのマイクロシーベルトです。

■問合せ先 町民税務課町民生活担当へ

3年4月1日までに生まれ
たかた

▽消防士(採用人数若干名)

昭和58年4月2日から平成7年4月1日までに生まれ
たかた、採用後に米沢市、南陽市、高島町及び川西町に居住できるかた

■試験日と会場

10月14日(日)

千代田クリーンセンター

※消防士の体力試験は15日(月)

高島町営体育館

■採用予定日

平成25年4月1日

■受付期間

9月3日(月)～28日(金)

■申込・問合せ先

置賜広域行政事務組合事務局総務課 (☎0238-2313246)へ

第22回排水設備工事

責任技術者統一試験

■日時 11月18日(日)

午後1時から午後3時30分

■場所

山形ビッグウイング

■申込期間

9月3日(月)～28日(金)

■その他 希望者を対象に受験講習会を開催します。

■申込・問合せ先

地域整備課水道管理室へ

子育て支援センターから

■問合先 子育て支援センターへ

☆あそびの広場☆

■日時 9月4日、11日(子

育て講座・雑穀料理教室)

18日、25日、いずれも午前

10時～11時30分

■場所 健康管理センター

■対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆なかよし広場☆

■日時 9月6日、13日、

20日、27日、いずれも午前

10時～11時30分

■場所 おぐに保育園

■対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆赤ちゃん広場☆

■日時 9月27日(木)

午後1時～午後3時30分

■場所 おぐに保育園

■対象者 生後4カ月から15

カ月のお子さんとお家のか

た

☆タッチケア教室☆

■日時 10月1日(月)

午前10時～11時30分

■場所 健康管理センター

■対象者 歩行前のお子さん

とお家のかた

9月の子育てカレンダー

1. 各健診の日程等

■1歳6カ月児健診

- ・期 日 9月21日(金)
- ・受付時間 12:30～13:00
- ・対 象 平成23年1月～平成23年3月生まれ

■4カ月児健診

- ・期 日 9月28日(金)
- ・受付時間 13:10～13:20
- ・対 象 平成24年5月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 9月28日(金)
- ・受付時間 13:00～13:10
- ・対 象 平成23年9月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他 母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センターへ

求 人 情 報

右の表は、8月27日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合がありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

今月の納税 2012.9

9月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●9月26日(水) 水道料

●10月1日(月) 固定資産税(3期)、国民健康保険税・後期高齢者保険料普通徴収分(3期)、介護保険料、下水道料・簡易水道料、住宅使用料、保育料等

■問合先

町民税務課税政管理室へ

事業所名	職 種	求人数	勤務時間
水ing(株) 東北支店	下水道処理施設運転員	1人	8:15～17:15
(株)愛工大興 東北支店	一般事務	1人	8:30～17:30
国土交通省北陸地方整備局 飯豊山系砂防事務所	事務補助	1人	8:30～17:15
(株) 横 川 建 設	事務員	1人	8:00～17:00
(株)キュアドリーム	介護職員	2人	6:00～15:00、10:00～19:00 19:00～7:00
大和建設運輸(株)	土木施工管理技士、 重機運転手、大型ト ラック運転手	8人	8:00～17:00
医療法人社団 緑愛会 満天の家	ケアマネージャー	1人	8:30～17:30
(株)高橋工務店	普通作業員	1人	8:00～17:00
斉藤建設(株)	土木施工管理技士	1人	8:00～17:00
(株)愛工大興 長者原支線現場事務所	一般事務	1人	8:30～17:30
(株)ケイプロダクツ	ショッピングサイト管理	1人	9:00～18:00
第一ホール小国店/ (有)コンズカンパニー	ホールスタッフ	1人	8:30～16:15、8:30～17:30、 16:00～23:00、15:00～23:00
(株)小国製麺	製造員	3人	8:00～17:00
小国町介護老人保健施設 温身の家	介護員	1人	8:30～17:00、12:15～20:45 16:00～9:00、6:30～15:00
(有)蔵王ストアー	レジ係(販売員)	1人	8:30～18:00の間の 8時間程度
旭ビル管理(株)	清掃員	1人	7:30～12:00
(株)金十商店	レジ業務・生鮮作業業務	2人	9:00～15:00、16:00～19:30

※今月は、8月以降に登録された求人を掲載しています。

後納制度（国民年金保険料の納付期限の延長）が始まります

これまでは、国民年金保険料を納め忘れたまま2年を超えると保険料を納めることができませんでしたが、本年10月から3年間に限り、過去10年以内の納め忘れた保険料を納めることができる、後納制度が始まります。

過去10年以内の保険料を納めていただくことで、将来の年金額を増やしたり、年金の受給権につなげることができるようになります。

詳しくは、**国民年金保険料専用ダイヤル**
☎0570-011-050にお問い合わせください。

ふるさと奨学ローン、生活応援ローンのご案内

～ふるさと奨学ローン～

県内に1年以上居住または勤務されているかたで、本人や親族のかたの教育費用としてご利用いただける融資制度です。また、卒業後県内に就職した場合、利子補給を受けることができます。

- 融資金額 最高1,000万円まで
- 融資金利 年2.2%～2.85%
- 保証料 年0.7%～1.2%
- 融資期間 最長10年（特約期間を含む）

～生活応援ローン～

会社や商店に1年以上お勤めのかたで労働組合や職場に融資制度のないかたのために、低利で融資する制度です。

- 融資金額 150万円以内
- 融資金利 年2.0%（固定金利・保証料別）
- 保証料 年0.6% ■融資期間 最長7年
- 申込・問合せ先
 東北労働金庫小国支店（☎62-4456）へ

相 談

年金相談 ……………

- 日 時 9月19日(水)
 10:30～14:00
- 場 所 役場町民相談室
- 対応者 米沢年金事務所職員
- 申込み 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合せ先
 町民税務課住民窓口担当へ

人権相談 ……………

- 日 時 9月19日(水)
 10:00～12:00
- 場 所 総合センター
- 対応者 町人権擁護委員
- 問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

多重債務相談窓口 ……………

東北財務局山形財務事務所では、本年4月から専門相談員を配置し、多重債務相談窓口を開設しています。相談は秘密厳守・無料ですので、お気軽にご相談ください。

- 相談専用電話
☎023-641-5201
- 受 付
 月曜日から金曜日（年末年始を除く）
 の午前8時30分から午後5時15分

総 合 セ ン タ ー 図 書 室 か ら

・・・休館日・・・ 毎週月曜日・祝日

～新着図書～

- | | | | |
|------------|---------|---------------|-----------|
| ◇山形ガールズ農場！ | 菜 穂 子 | ◇末裔 | 絲 山 秋 子 |
| ◇限界集落株式会社 | 黒 野 伸 一 | ◇ばんば憑き | 宮 部 み ゆ き |
| ◇ひつまぶし | 野 田 秀 樹 | ◇ふるさと60年（絵本） | |
| ◇百歳 | 柴 田 ト ヨ | 道 浦 母 都 子 ・ 文 | 金 斗 紘 ・ 絵 |



- 小国町役場 ☎62-2111(代) fax62-5464
- 行政管理室 ☎62-2112
- 国保医療担当 ☎62-2261
- 農林振興室 ☎62-2408
- 建設技術室 ☎62-2432
- 政策企画室 ☎62-2264
- 税政管理室 ☎62-2403
- 商工観光室 ☎62-2416
- 議会事務局 ☎62-2448
- 住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
- 会計室 ☎62-2406
- 建設管理室・水道管理室 ☎62-2431

献血のお知らせ

移動採血車による献血
にご協力をお願いします。

■問合せ先 健康福祉課へ

期 日	時 間	会 場
9月26日(水)	9:00~12:00	県立小国高等学校・校舎前駐車場
	14:00~16:00	小国町役場・東側駐車場
10月16日(火)	9:30~11:30	コバレントマテリアル(株)
	13:00~16:00	体育館前駐車場

小国町森林体験観光推進事業 ツリーイング (Tree+ing) に挑戦

ロープを利用した木登り「ツリーイング」
を通して、ともに自然を体感しましょう。

■日 時 9月22日(土) 9:30~16:30

■場 所 健康の森「よこね」

※雨天時は旧伊佐領小学校体育館

■対 象 親子・一般のかた (定員20名)

■参 加 費 500円 (保険料)

■持 ち 物 長袖・長ズボン、シューズ、手袋、
タオル、飲み物、昼食

■申込期限 9月18日(火)

■申込・問合せ先 NPO法人ここ掘れ和ん話ん
探検隊 (☎050-7507-5955) へ

C型肝炎特別措置法の給付金 請求期限のお知らせ

出産や手術における大量出血等の際に、特
定の血液製剤を投与されたことによって、C
型肝炎ウイルスに感染されたかたに給付金を
支給する仕組みがあります。

給付金の支給を受けるためには、平成25年
1月15日までに請求手続きを行う必要があ
ります。詳しくは厚生労働省のホームペー
ジまたは厚生労働省相談窓口へお問い合わせく
ださい。

■問合せ先 厚生労働省相談窓口
(☎0120-509-002) へ

～国民健康保険及び後期高齢者医療に加入しているかたへ～ 限度額適用認定証をご存じですか？

限度額適用認定証は、入院や外来など高額な医療費がかかった場合、その負担を軽減するた
めに必要なものです。下表の自己負担限度額を超える場合、医療機関窓口にて提示すると医療費の負
担軽減になります。限度額適用認定証の交付を受けるためには申請が必要です。保険証と印
鑑をお持ちになり、役場町民税務課で手続きをしてください。

○国保の70歳未満のかた、国保の70歳以上のかたと後期高齢者医療に該当しているかたで**住民
税非課税世帯 (低所得者Ⅰ・Ⅱ区分のかた)**については、限度額適用認定証が必要です。

○国保の70歳以上のかたと後期高齢者医療に該当しているかたで**住民税課税世帯**のかたにつ
いては、限度額適用認定証は不要です。(あらかじめ自己負担限度額までしか請求されません)

■問合せ先 町民税務課国保医療担当へ

◆1カ月あたりの自己負担限度額

○国保の70歳未満のかたの場合

所得区分	自己負担限度額
上位所得者	150,000円 +(医療費-500,000円) ×1%
一般	80,100円 +(医療費-267,000円) ×1%
住民税 非課税世帯	35,400円

○国保の70歳以上のかたと後期高齢者医療のかたの場合

所得区分	自己負担限度額	
	外来	外来+入院
現役並み 所得者	44,400円	80,100円 +(医療費-267,000円) ×1%
一般	12,000円	44,400円
低所得者Ⅱ	8,000円	24,600円
低所得者Ⅰ	8,000円	15,000円

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

宮の台 伊藤 凛（悠衣子）
 兵庫 館井上 夏希（勝裕美）
 小国町 渡部 快飛（和哉理）
 岩井沢 大友 凱斗（憲昭紀）

結婚おめでとうございます。

（ 西 大谷 健人
 尻無沢 須貝 ルミ

おくやみ申し上げます。

北 長谷部オミツ (90)
 幸町 竹内たね子 (79)
 北 吉田一夫 (71)
 北 伊藤テツ (89)
 小国小坂町 今道五郎 (83)
 小 渡 玉垣勝美 (71)
 新股 本多一郎 (87)
 岩井沢 阿部栄子 (76)

人口のうごき

人口 男・・・4,251人(-9)
 女・・・4,496人(-2)
 計・・・8,747人(-11)
 世帯数 3,225世帯(-4)
 平成24年7月31日現在

～訂正とおわび～

先月号の戸籍のまど「誕生おめでとうございます」欄において、誤りがありましたので、下記のとおり訂正し、深くおわび申し上げます。

- 延藤ひかりちゃんの住所は北と記載していましたが、正しくは小国小坂町でした。また、お父さんのお名前を弘樹さんと記載していましたが、正しくは広樹さんでした。
- 藤田稜樹ちゃんの住所は兵庫館と記載していましたが、正しくは小玉川でした。

シリーズ 健康道場

その五 肩甲骨、健康ですか？

自分の背中を見たことがありますか？背中は正直で、疲れたときは丸くなり、うなだれたポーズになりやすいです。そうすると内臓も動きが鈍くなり呼吸も浅くなります。元気な背中では、肩甲骨がしっかりと働きます。

背中の動きが悪くなると背中こりや肩こりの原因になり、さらには頭痛や、内臓不調の原因にもなります。肩甲骨は意識して動かしましょう。また、仰向けに寝て、肩甲骨の間にスモールボールなどを置き、脱力すると気持ちよくストレッチできます。お試しください。

Yui オススメ 肩甲骨つくりのポイント

健康な肩甲骨

腕を前後上下に動かす事で背中が「羽」のように広がったり寄ったりします。



●意識して背中を真っ直ぐにしましょう。お腹も締まります。

●肩甲骨の動きを意識しながら腕を大きく上下前後と廻します。

●「肩甲骨をはがす」後ろに手を回し、肩甲骨を背中からはがすように指を入れる。常に「はがれる肩甲骨」で生活しましょう。



※お問合せ先 **おぐにYui** スポーツクラブ ☎62-5808

編集後記

8月は、花火大会や盆踊りなど、様々な催しがありました。いずれの行事も天候に恵まれ、たくさんの方々が夏のひと時を楽しんでいました。

その一方で、気になるのは降水量の少なさ。山形地方気象台小国観測所のデータによると、8月の降水量は26日現在で33・5ミリ。同所の過去3年の平均値が約147ミリです。今年はとてもし少ない状態にあると言えます。9月初旬も暑い日が続くようです。引き続き節水を心がけるとともに、熱中症にも注意しましょう。
 (加藤)